

対ジブチ共和国 事業展開計画

2024年 4月 現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>地域安定化に資する持続可能な経済社会開発への支援</p>											
<p>重点分野 1 (中目標)</p>	<p>持続可能な経済成長に資する経済社会基盤強化</p>											
<p>開発課題 1-1 (小目標) 産業インフラ・基礎生活環境整備</p>	<p>【現状と課題】 ジブチは、アジア・ヨーロッパ間の海上物流上の主要な航路であるアデン湾上の要衝に位置している。周辺の沿岸国の情勢が不安定であることから、特にエチオピア市場向けの取引・物流は殆どジブチを通じて行われている状況にある。このような状況の中、ジブチ政府は、ジブチをアフリカの角地域における物流上のハブとして機能させるための政策を推進している。加えて、電力エネルギー等のインフラ需要が急速に高まっており、環境に配慮しつつインフラ整備を進めることが課題となっている。 また、持続的な経済成長を維持するには、産業インフラ整備だけでなくそれを下支えする基礎生活環境の整備も重要となる。特に、ジブチでは都市部と地方部の間に開発格差が見られ、温暖化などの気候変動の影響もあり、慢性的な早魃や季節的な洪水の被害にもさらされる等、生活環境基盤が脆弱となっている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 ジブチが経済成長を維持し、都市部と地方部において均衡のとれた開発を進めるために不可欠な産業インフラ・基礎生活環境整備を行うと共に、ジブチ政府による災害対応能力の強化も図る。</p>						
	<p>協カプログラム名</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>SDGs</p>	<p>備考</p>
	<p>産業インフラ整備 プログラム</p>	<p>地熱開発試掘プロジェクト</p>	<p>開発計画</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>24.00</p>	<p>7,13</p>	
		<p>道路点検・維持管理能力向上アドバイザー</p>	<p>個別専門家</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>9,11,13</p>	
		<p>タジュラ湾海上輸送能力強化計画</p>	<p>無償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>40.81</p>	<p>9,11,13</p>	
		<p>パルマレ橋梁建設計画</p>	<p>無償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>59.44</p>	<p>9,11,13</p>	
	<p>デジタル地理情報の管理及びデータ共有能力開発プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>9</p>		
	<p>ジブチにおける広域緑化ポテンシャル評価に基づいた発展的・持続可能水資源管理技術確立に関する研究</p>	<p>科学技術</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>3.45</p>	<p>1,2,6</p>		
	<p>ジブチにおける栄養改善のためのコミュニティの強化プロジェクト</p>	<p>マルチ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>2.75百万 USD</p>	<p>2,3</p>	<p>世界銀行社会開発基金(JSDF)</p>	
	<p>給水分野の草の根・人間の安全保障資金協力</p>	<p>草の根無償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>0.33</p>	<p>6</p>		
<p>気象業務改善プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>11,13</p>			
<p>ジブチに対する洪水リスク管理のための国際機関経由の支援</p>	<p>マルチ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>0.4百万 USD</p>	<p>11,13</p>	<p>日-世銀 防災プログラム</p>		
<p>ジブチの女性に対する国際機関経由の支援</p>	<p>マルチ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>2.75百万 USD</p>	<p>5</p>	<p>JSDF</p>		
<p>ジブチ市における洪水防御計画に係る情報収集・確認調査</p>	<p>基礎情報調査</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>11,13</p>			

保健医療体制の強化プログラム	ジブチ市三次医療病院における医療機材整備計画	無償	■■■■■					5.90	3	
	5S-KAIZEN-TQMを通じた保健医療サービスの質向上のアフリカ地域広域展開促進	個別専門家	■■■■■						3,5,10	
	保健医療分野の課題別研修	課題別研修他	■■■■■						2,3,5,10	
	保健分野の第三国研修	第三国研修	■■■■■						2,3,5,10	
	保健分野のJICA海外協力隊	JOCV	■■■■■						2,3,5,10	
	ジブチにおける母子保健サービス改善のための支援	マルチ	■■■■■					0.9百万USD	3	日本開発政策・人材育成基金(PHRD)
その他	産業インフラ・基礎生活環境分野の課題別研修	課題別研修他	■■■■■						4,6,7,9,11	
	経済社会開発計画	無償	■■■■■					3.00	11,13	災害対策機材





重点分野3 (中目標)	地域の安定化努力支援												
開発課題3-1 (小目標) 地域の安定化努力 支援	<p>【現状と課題】</p> <p>ジブチは、政治的に不安定な「アフリカの角」地域にあって安定した政権運営を続けており、ソマリア和平に政治的に関与したり、同国に駐留するアフリカ連合ソマリア暫定ミッション(AUSSOM)に部隊を派遣したりする等地域の和平プロセスに貢献しているほか、我が国自衛隊を含む各国によるソマリア沖海賊対策にも積極的に協力している。</p> <p>2010年12月の大統領令で創設されたジブチ沿岸警備隊は、現在、ジブチ周辺海域における違法漁業、密輸、移民対策のため積極的に活動しているが、海洋の安全保障を図るためには更なる技術的な支援を必要としている。また、「ジブチ行動指針」(DCoC)に表れているような地域的な海洋安全保障能力の向上も必要である。</p> <p>また、ジブチは、ソマリア、エチオピア、イエメン等の隣国から3万1千人以上の難民を受け入れており(2024年3月時点:UNHCR)、年間数万人単位の移民の経路地ともなっている。右は国内経済を逼迫するとともに、時に難民・移民と受け入れコミュニティの間で軋轢を生む原因にもなっている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>ソマリア等の周辺国の不安定な情勢に起因する海上犯罪(海賊、違法漁業、密輸や難民・移民等の問題)に対処するため、ジブチ政府の対応能力の強化を行う。また、関係する国際機関やNGO等とも協力しつつ、難民・移民対策等に付随する各種課題への対応に対する支援を行う。</p>							
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間				支援額 (億円)	SDGs	備考			
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
	海洋安全保障能力 強化プログラム	沿岸警備隊能力拡充プロジェクト フェーズ3	技プロ	■■■■■							5.10	14,16	
		海上保安能力向上計画	無償	■■■■■							34.23	16	
海洋安全分野の課題別研修		課題別研修他	■■■■■								16		
難民支援プログラム	難民支援分野のJICA海外協力隊	JOCV	■■■■■								1,2,10,16		
	ジブチにおける難民及びジブチ人への食料・栄養に対する国際機関等経由の支援	マルチ	■■■■■							4.66百万 USD	1,2,4	世界食糧計画 (WFP)	
その他	アフリカの角地域の若者、脆弱層および女性への支援アプローチの検討に係る情報収集・確認調査	基礎情報調査	■■■■■								5,10		

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力をスキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」」(=実施期間)、「破線「---」」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)